



こどもの日にちなんで

5月5日はこどもの日です。こどもの日にちなんで、茨城県のこどもの人口に関する統計を取り上げました。

なお、0～14歳のいわゆる年少人口を「こども」としました。

こどもの数は43万9,498人，県総人口の14.7%で過去最低

茨城県常住人口調査の結果から，平成15年5月5日のこどもの数を推計すると，439,498人となり，県総人口に対する割合は14.7%になります。この数値は人口，割合ともに過去最低となります。

前年同時期の推計に比べると，こどもの人口は3,150人減少し，県の総人口に対する割合も14.8%から0.1ポイント低下しました。

男女別では，男子が225,943人，女子が213,555人で，男子が女子を12,388人上回っています。

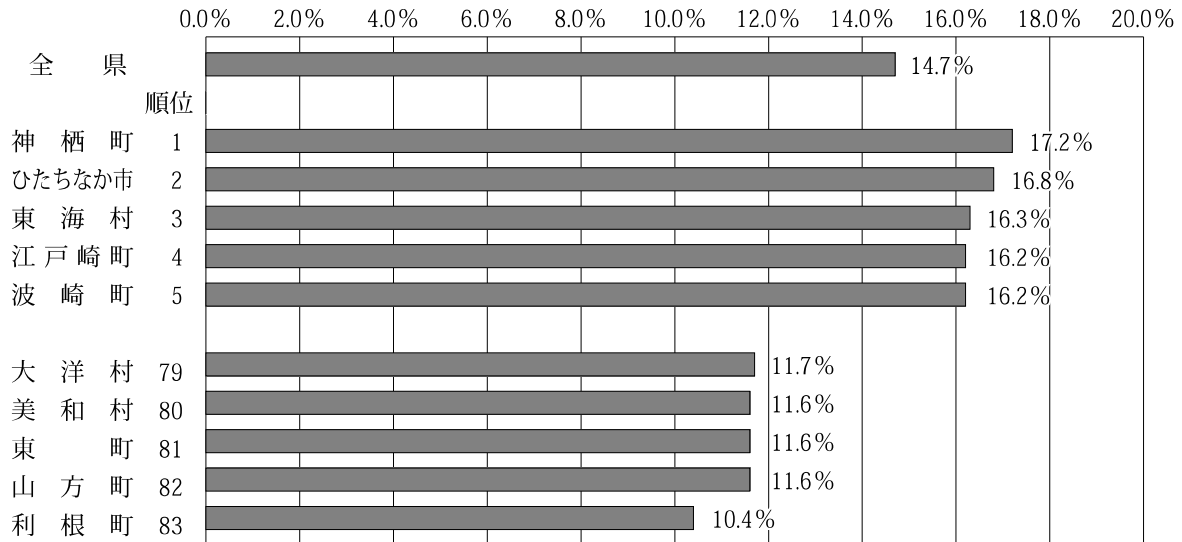
表1 茨城県のこどもの人口の推計（平成15年5月5日）

	総人口	こどもの人口 (0～14歳)	割合
男女計	2,987,897人	439,498人	14.7%
男	1,486,104人	225,943人	15.2%
女	1,501,793人	213,555人	14.2%

注) 茨城県常住人口調査の結果をもとに推計。

なお，平成15年5月5日のこどもの人口割合で県平均を上回っているのは，神栖町（17.2%），ひたちなか市（16.8%），東海村（16.3%），江戸崎町（16.2%）などです。他方，県平均を下回っているのは，利根町（10.4%），山方町（11.6%），東町（11.6%），美和村（11.6%）などです。

図1 市町村別子どもの推計人口割合（平成15年5月5日）

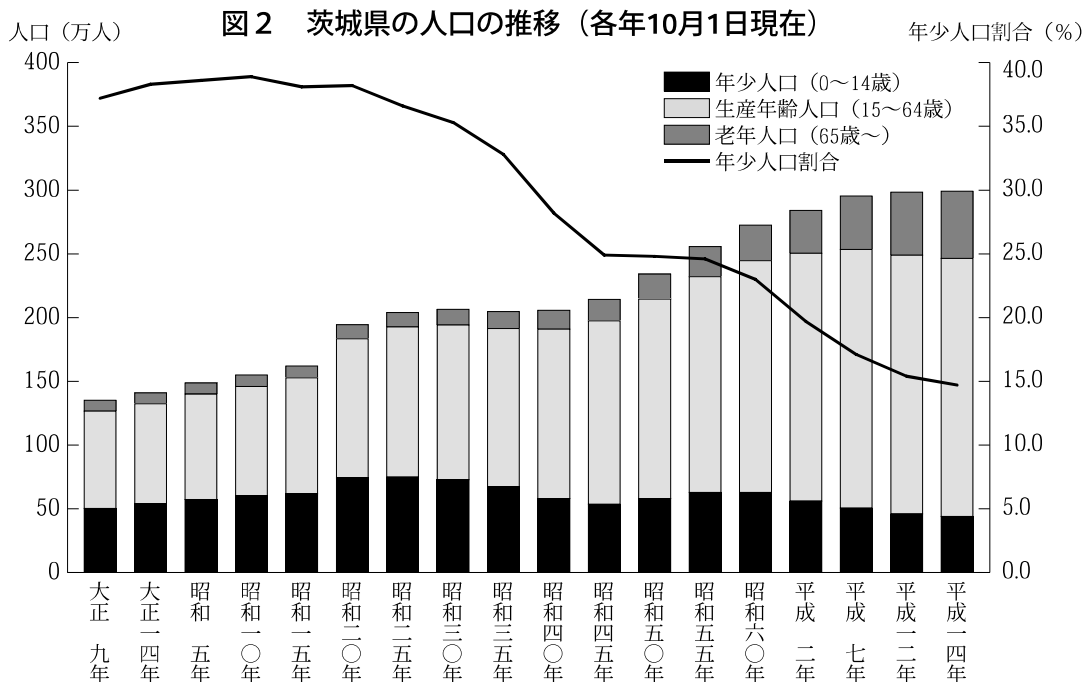


注) 茨城県常住人口調査の結果をもとに推計。

子どもの人口割合は昭和10年の38.9%をピークに年々低下

大正9年から5年ごとに行われる国勢調査結果では、子どもの人口割合が、もっとも高かったのは昭和10年の38.9%で、その後、年々低下しています。

平成12年には、子どもの人口が458,501人となり、国勢調査始まって以来初めて50万人を下回り、子どもの人口割合は15.0%まで低下しました。



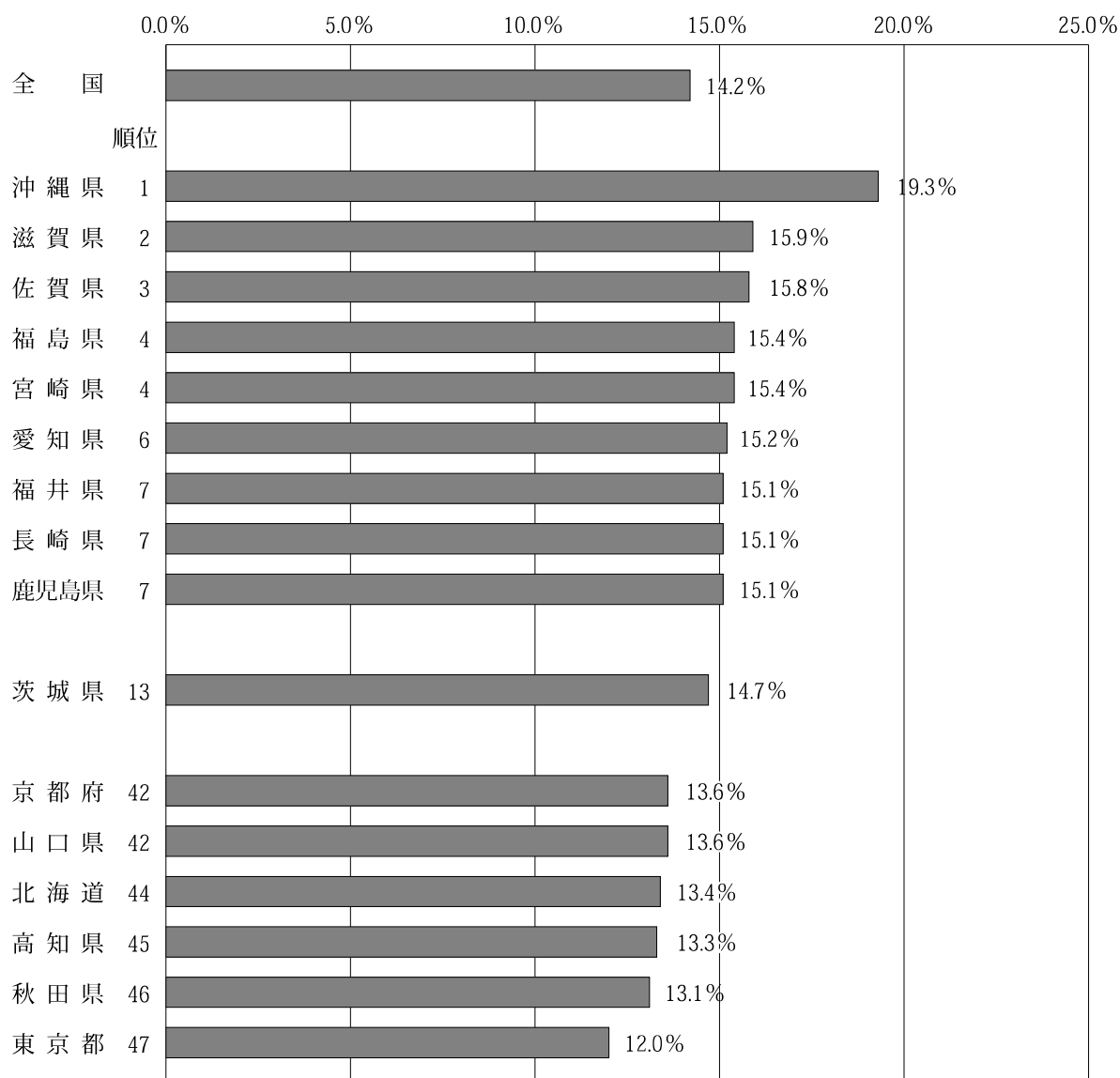
注) 平成14年は総務省統計局「平成14年10月1日現在推計人口」により、平成14年以外は国勢調査結果により作成。

茨城県はこどもの人口割合がやや高め

総務省統計局が推計した平成14年10月1日現在の都道府県別推計人口では、本県の総人口に占めるこどもの推計人口割合は14.7%です。これは全国平均の14.2%を0.5ポイント上回っています。

こどもの推計人口割合が最も高い県は、沖縄県で、滋賀県、佐賀県、福島県、宮崎県がこれに続いています。本県は栃木県、群馬県、長野県、三重県と同率で第13位です。

図3 都道府県別こどもの推計人口割合



注) 総務省統計局「平成14年10月1日現在推計人口」により作成

—茨城県常住人口調査について—

この資料は茨城県常住人口調査の結果をもとに作成しました。茨城県常住人口調査は、国勢調査の間における県内各市町村ごとの人口及び世帯の移動状況を明らかにするために、県統計課が実施しているものです。